

クォーレ彩が丘教室 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	改善目標、工夫している点など
				いえない		
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			保護者評価も適切であるという評価が100%であった
	②	職員の配置数は適切であるか	○			保護者評価も適切であるという評価が99%であった
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関前に段差はあるが室内はバリアフリーとなっている
業務改善	④	事業改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			教室運営方針（1年）並びに個別支援計画をもとに期間を決めての振り返り及び毎日のフィードバックを確実にしている
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からのご意見をもとに改善を行っている
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて毎年3月に公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			時折、他県からの視察または見学希望を受け入れご意見を頂き、改善を行っている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			2カ月に一度の定期研修や県外への研修など資質向上のための研修に力を入れている
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			課題を客観的にとらえ、科学的根拠に基づき計画作成を行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを用いると同時に専門的な見地からのアセスメントも行っている
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			科学的根拠に基づき、プログラムがどのように効果があるかを分かたうえで支援内容は設定されている
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われて	○			計画（方針）のない支援はあり得

提供	⑬	いるか	○			ないと思っている	
		⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各プログラムのパーツがチーム編成されており、年間活動の計画、立案を行っている
		⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間目標をもとに年度末に目標達成できるよう週ごとに活動内容はレベルアップしている
		⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○			集団活動ができるようになるために、個別→小集団→集団とスモールステップで組み立てている。

	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを必ず行い、療育を行っている	
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日授業後フィードバックを必ず行い、支援の質の向上を図っている	
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日必ず経過の記録を行い、療育計画の進捗をチェックしている。	
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に二回の個別面談時に行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児発管のどちらかが出席している	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在そのような機会がない	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				○	現在対象児がいない
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				○	現在対象児がいない
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○		保護者、保育所などから依頼があった場合のみ対応している
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				○	現在そのような機会がないため実績はないが、保護者や学校の依頼があれば対応できる準備はしている
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				研修については県外、県内含め積極的に参加している。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	現在その必要性を感じておりません
㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか				○	情報があまりなく参加できていません	

連携	るか				
	②9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	○			お会いした際には必ず状況の共有 は行っており、連絡帳も活用して いる
	③0 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対して 家族支援プログラム（ペアレン ト・トレーニング等）の支援を行っているか		○		プログラムを提供することまでは 行っていないが、相談があれば助 言させていただくことがある

保護者への説明責任等	③①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず行っている
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			直接面談しながら、確実にしている
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談があれば必ずさせていただきます。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	そのような機会を必要とされている方が少ないため行っていません
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に行っています
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一回会報誌を配布しています
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			鍵付きのロッカーに保存しています
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳を主に活用しています
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	必要性が現在ないため行っておりません
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	職員には周知を徹底しており、訓練も行っています。 今後保護者へは会報誌で周知を行います。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に一度行っています
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			○	予防接種までは確認していません
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取りは必ず行い、徹底した管理は行っていますが、医師からの指示までは受けたことはありません
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集までの作成は行っていませんが、ミーティングやフィードバックで必ず共有しています
④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保しているか	○			虐待研修は必ず行います	

	保する等、適切な対応をしているか	○			
④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援 計画に記載しているか	○			現在そのようなケースがないので実績はありませんが、組織的な取り決めはあります。